

# 郡上市少年スポーツ団体憲章

少年期のスポーツ活動の目的は、体力・技術の向上とあわせて、『スポーツマンシップ』という言葉に表されるように、全力を尽すことや他人に対する思いやりなどの精神を育むこと、すなわち「心技体」を磨き育むことにあります。また、同時に生涯を通じてスポーツに親しむ“スポーツ好き”を育てることも重要なことです。

そこで、郡上市少年スポーツ団体連絡協議会では、この少年スポーツ活動の目的を原点に、スポーツに親しむ子ども達のこころとからだの成長を願い、また、それをサポートする指導者並びに育成者が相互に共通の理念をもって活動できるよう、ここに『郡上市少年スポーツ団体憲章』を定めます。

- 一、わたしたちは、スポーツに親しみ、健康なこころとからだを養います。
- 一、わたしたちは、目標をもち、スポーツによって自分の力を伸ばす努力をします。
- 一、わたしたちは、スポーツを通じて、助け合いと感謝のこころを学びます。

また、この憲章に定める目標を具体的な行動につなげるため、団員・指導者・育成者がそれぞれの立場で、以下に示す姿勢で取り組みます。

## 1 団員（子ども達）の姿勢

- ①施設や道具、時間を大切にし、安全に気をつけて活動しましょう。
- ②早寝、早起き、三食をしっかり食べ、規則正しい生活に心がけましょう。
- ③基礎的、基本的な技術を身につける努力をしましょう。
- ④自分で目標を立て、最後までやりぬく力をつけましょう。
- ⑤仲間や家族、指導者など、支えてくれる方々に対して感謝し、いたわりのこころを持った行動に心がけましょう。
- ⑥大きな声でのあいさつや返事、ルールや約束を守ることができる、真の「スポーツマン」をめざしましょう。

## 2 指導者の姿勢

- ①子ども達が、安全で安心して活動ができるよう、指導者も一緒になって施設や道具の安全点検を積極的に行いましょう。
- ②子ども達が、適切な休息と十分な睡眠時間が取れるよう、練習時間や帰宅時間に留意しましょう。
- ③子ども達の日々の変化に対応できるように、指導者自身も研修会へ積極的に参加し、自己研鑽に努めましょう。
- ④大会結果だけを重視するのではなく、目標に向かって努力してきた過程にも目を向けた指導に努めましょう。
- ⑤子ども達の人権を尊重し、暴言や暴力など子どもを傷つける行為は絶対にやめましょう。
- ⑥指導者自身があいさつを率先して行い、感謝の気持ちや相手へのいたわりなど、スポーツマンのこころを伝える指導を心がけましょう。

## 3 育成者（保護者）の姿勢

- ①家庭において、命の尊さや相手に対する感謝、いたわりのこころについて会話する機会を積極的に設けましょう。
- ②食事・睡眠・学習・スポーツ・遊びなど、家庭において規則正しい生活のリズムづくりに心がけましょう。
- ③水分補給や食育など、子ども達の発育・発達や栄養に関する研修会へ参加し、バランスのとれた食事づくりに心がけましょう。
- ④指導者との話し合いの場を積極的に持ち、指導方針や指導方法に関する共通認識を持つように心がけましょう。
- ⑤スポーツマンの育成者であるという認識を持ち、マナーを逸脱した応援や行動をとることのないようにしましょう。
- ⑥団活動以外のボランティア活動にも積極的に参加する団体づくりを行いましょう。